



## ソリューション概要

### ○プロフィール

平和を意味するポルトガル語「Paz」を校名に付けた群馬パース大学は、2005 年 4 月に短期大学から四年制大学に移行して開学した医療系大学です。豊かな教養と人間愛を備えた質の高い保健医療専門職を育成し、保健・医療・福祉サービスとの協働及び知の創造を通じて、国際社会、地域社会に貢献することを目的としています。看護師、保健師、理学療法士、助産師、臨床検査技師と取得できる国家資格を増やしてきた同校では、2009 年に大学院を設立。研究を深め、指導者を目指すこともできるようになっています。

### ○導入ソフトウェアとサービス

- ・ Windows<sup>®</sup> 8.1
- ・ Microsoft<sup>®</sup> Office 365

### ○パートナー企業

日本ヒューレット・パッカード株式会社

### ○メリット

- ・ 最新のデバイスで、学習や就職後に必須となる Windows を搭載した端末として、打鍵感があって PC としても利用できるキーボード ジャケットを持つ HP ElitePad 900 for DOCOMO を新入生全員に無償貸与。
- ・ LTE を使えることにより、万が一のアクセスポイント ダウンや緊急時の課題の送受信などにも対応。
- ・ 無線 LAN を全館整備し、Office 365 を活用することで、学内のどこでも情報収集やグループでの学習が行える。

### ○ユーザー コメント

「新入生への PC 無償貸与は 5 年前から行っていますが、2014 年度は Windows 8.1 搭載の HP ElitePad 900 for DOCOMO を採用しました。授業や就職後を考えれば、キーボードが使える、かつ OS が Windows である機器以外の選択肢は考えられず、キーボード ジャケットがオプションで選べる端末を選択しています。Office 365 も導入して授業だけでなく、将来的には、グループワークや国家試験対策で学生間のコミュニケーションやファイル共有にも活用していきたいと考えています」

学校法人 群馬パース学園  
群馬パース大学  
事務部 企画室長兼入試広報課長  
岡部 恒明 氏

## 新入生全員に Windows 8.1 タブレットを無償貸与し、学内すべてに整備された無線 LAN と Office 365 を活用して、どこでも情報収集でき、グループワークなどを行える環境を提供

情報処理教室をなくし、学生 1 人 1 台の情報端末提供を目指す大学が増えています。BYOD を活用するなど、その方法はさまざまですが、医療系のスペシャリストを養成する群馬パース大学では、2014 年度の新入生 223 名全員に Windows 8.1 タブレット「HP ElitePad 900 for DOCOMO」(以下、ElitePad 900) を無償貸与しています。大学全館で利用できる無線 LAN を活用し、同時に Microsoft Office 365 も導入して、授業や学内外での学習に役立てています。

### 導入背景とねらい

#### 全館に無線 LAN を整備し

#### 5 年前から 1 人 1 台の PC を貸与

群馬県高崎市にある群馬パース大学は、看護学科、理学療法学科、検査技術学科の 3 つの学科を持つ医療系の大学です。病院の現場の意見に基づいた高度な医療の専門職を育成する機関として、国家試験で高い合格率を誇っています。

「開学 17 年目を迎えた本学では、大学院や関連病院と連携し、平和・公正・安定・成長をモットーとする独自の教育方針の下できめ細かい教育を施しており、就職率はほぼ 100% です」と学長の栗田 昌裕 氏が話すように、就職率の高さも同校の大きな特長の 1 つです。読売新聞社発行『就職に強い大学 2014』や週刊東洋経済の特集『本当に強い大学』の「就職に強い大学 (理系大学)」で、群馬パース大学は全国 1 位の評価を受けています。

2010 年 4 月、大学が群馬県吾妻郡高山村から高崎市に移転したときから、同校では全館に無線 LAN を整備し、学生が学内のどこでもインターネットにアクセスできる環境を提供しています。また、2009 年度からは、PC を全学生に無償貸与し、卒業時には贈呈することを続けてきました。「全学生に貸与する PC は、学生が ICT 環境に柔軟に適応し、適切な情報を迅速に得て学習能力を高め、人間形成を促し、職能を育成するために活用しています」と話す栗田 氏。また、事務部 企画室長兼入試広報課長の岡部 恒明 氏も、「全学生が貸与された PC を持って、学内のどこからでも無線 LAN を使って情報収集できることを目指しました」と話します。学ぶ環境の格差をなくし、全員が PC を所持していることを前提に授業や学習課題を進めることができると考えているのです。

### 導入の経緯

#### Windows 以外の選択肢は考えられず

#### 最新のデバイスとして ElitePad 900 を選択

毎年、新入生に貸与される情報端末については、常に最新のものを選択するようにしていると語る岡部 氏は、その理由を次のように説明します。「医療系の大学では、国家資格取得まで 4 年間、毎日授業や実習を重ね、しっかりと勉強しなければなりません。高校生が医療系の大学選びをするときに、資格取得までは大変だけど学生生活は楽しそうだと思ってもらいたいと考えています。そのためには、スポーツ施設などと共に最新の IT を利用でき、充実した学生生活を送れるように大学が環境を整備する必要があります。」



群馬パース大学



学校法人 群馬パース学園  
群馬パース大学  
学長  
栗田 昌裕 氏



学校法人 群馬パース学園  
群馬パース大学  
事務部 企画室長兼  
入試広報課長  
岡部 恒明 氏

毎年の端末選定では、人に自慢でき、カッコいい機種であることも大きな条件になります」。

2013 年度まではノート PC を貸与していましたが、2014 年度は Windows 8.1 タブレット「HP ElitePad 900」を選択しています。まず、Windows 8.1 を選択した理由について岡部 氏は、「基本的に授業では Microsoft Office の利用を前提としており、卒業後の医療の現場でも Windows PC を利用することが多くなっています。キーボードも必要であるため、他の OS のタブレットは授業での活用に適していないと判断し、最初から選択肢に入っていませんでした」と話します。

ノート PC やタブレットなど、さまざまな機種の中から ElitePad 900 を選択した理由は、「HP ElitePad キーボード ジャケット」をオプションで選べるのが大きなアドバンテージとなったといいます。「他の機種のタブレットに付けられるキーボード ジャケットは、しっかりとした打鍵感がなく、物足りないと感じました。Bluetooth や USB のキーボードを別途用意することも考えましたが、一体になっていたほうが持ち運びに便利です」(岡部 氏)。

10.1 インチのディスプレイで米軍の調達基準「MIL-STD-810G」テストをクリアする堅牢性があるのも ElitePad 900 の選択理由の 1 つです。「落として壊してしまうこともあるため、ノート PC を貸与していた時は

カバーも提供していました。しかし、カバーを付けるとカバンの中がノート PC でいっぱいになってしまい、他の物を入れるスペースが少なくなります。堅牢性が高く、小さすぎない 10.1 インチのタブレットが最適だと考えました」と話す岡部 氏。学生の 6 割以上が女性である同校では、医学書や専門書などと一緒に持ち歩けるコンパクトなデバイスを求めているといいます。さらに、遠隔ロックやデータ消去、SSD 全体の暗号化などのセキュリティ機能を搭載し、万が一の盗難や紛失にも安心して対応できることも選択理由となっています。

LTE を利用できる端末を選択することも要件の 1 つでした。「学内ではどこでも無線 LAN を利用できるので、基本的には無線 LAN を利用することが前提です。しかし、全学生がアクセスすることを想定しているわけではないので、万が一アクセス ポイントがダウンしてしまった場合の通信手段として LTE は必要だと考えました。学外で頻繁に利用することは想定していませんが、緊急に課題等の送受信が必要になった場合に活用できるでしょう」(岡部 氏)。

## 導入効果

### 授業や共用スペースでの学習に活用 4 年間常に最新の Office を利用できる

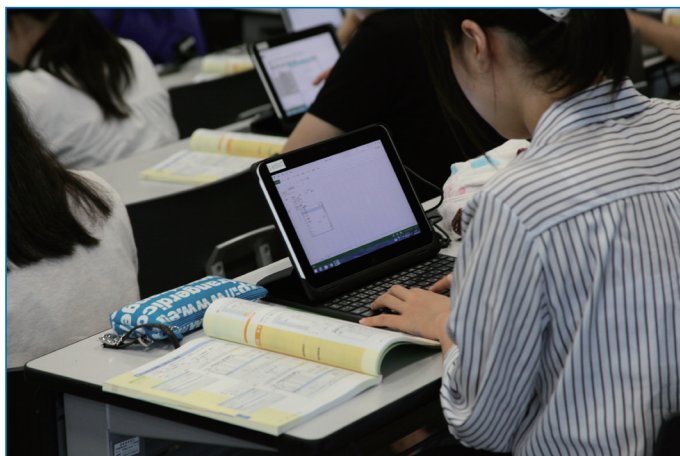
群馬パース大学では、情報処理の授業などで学生全員が貸与された ElitePad 900 を使い、Microsoft® Excel® の演習などを行っています。今年から Office 365 を導入した経緯を岡部 氏は、「昨年まではコストを抑えるために互換ソフトを使っていましたが、Word や Excel の演習用のテキストと画面イメージやメニューの配置が異なるため、学生からはマイクロソフトの Office を使いたいという強い要望がありました」と説明します。

導入の初期コストを抑え、4 年間常に最新の Office を活用することも Office 365 を選択した理由の 1 つとなります。将来的には、OneDrive™ などを活用して学生同士でコミュニケーションやファイル共有を行い、高学年で必須となるグループ ワークや国家試験対策などに利用の幅を広げていくことが考えられます。



情報処理の授業などでは、新入生全員が貸与された ElitePad 900 を活用して Excel の演習などを行っています。

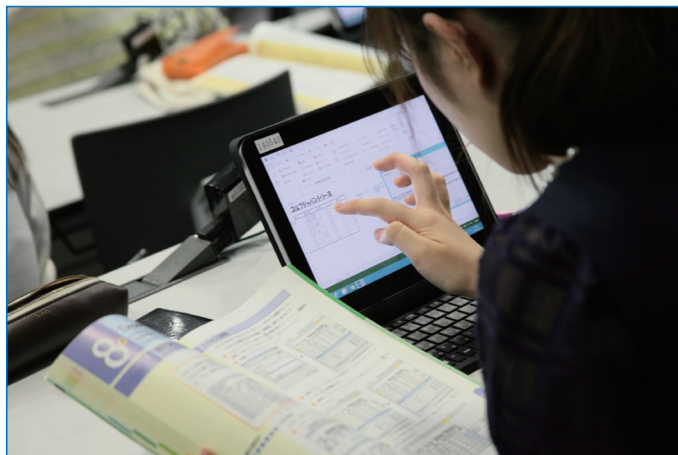




授業でキーボードは必須であるため、しっかりとした打鍵感の専用キーボード ジャケットがある ElitePad 900 が選択されています。



マウスを利用する学生もいれば、マウスを接続せずにタッチ操作する学生もいて、自由なスタイルで学習できます。



大学内ではラウンジなどの共用スペースで学生同士が集まり、それぞれ課題や学習を ElitePad 900 を使って行っている姿が見られます。同じ画面を見ながら作業を行う際にも、マウスを使った操作よりもタッチ操作のほうがお互いの会話がしやすく、授業内でのプレゼンでも画面の切り替えなどをすばやく行えます。

実際に利用している学生は、スマートフォンなどでタッチ操作に慣れているため、タブレットを渡されたときに行われた講習を受けるだけですぐに操作に順応しています。そのため、マウスを接続せずにキーボードとタッチ操作で授業を受けている学生もみられました。学生からは「自分が持っているノート PC よりも軽くて使いやすい」「キーボードがしっかりしていて使いやすい」「Microsoft® PowerPoint® などのページを指でめくりやすい」といった感想を聞くことができました。また、上級生からは「自分たちが貸与された 12 インチのノート PC よりもコンパクトで、タッチ操作ができることがうらやましい」という声も聞かれるといいます。現在はキーボード ジャケットを付けたままノート PC の代用として使っている学生がほとんどですが、グループ ディスカッションや国家試験に向けてのグループ ワークなど、高学年になってデバイスに慣れていくにつれ、キーボード ジャケットを外しタブレット型にしてお互い

に画面を見せ合いながら話し合ったりするなど、さまざまな用途に活用されていくことが期待されます。

## 今後の展望

### e ラーニングの構築やクラウドの利用が今後の課題 Office 365 もさらに活用していく

「タブレットとしてどのように活用していくかは、今後の課題でもあります。もっと使い方を工夫して浸透してきてから、教員側にアプローチしてタブレットの今後の活用を指導していきたいですね」と岡部 氏は話します。新たなデバイスにすぐに慣れていく学生に対して、教員側がどのように授業に取り込み、国家試験対策に活用していくかを模索する必要があると岡部 氏は考えています。

「国家試験対策はもちろん、授業の中での演習や技術指導を効率的に予習するために何ができるかが重要です。授業を録画して家や学内で自由に視聴できるような e ラーニングのしくみを作ることも考えられるでしょう。先生方にもご協力いただき、どのような形で行えば、簡単で負担がかからないかを考える必要があると思います」と話す岡部 氏



貸与されたタブレットは、授業内のプレゼンなどでも活用されています。



タッチ操作が使いやすく、コンパクトに持ち運べるなどの学生の声が聞かれます。



無線 LAN が整備された学内の共有スペースでは、学生どうしが Windows 8.1 タブレットを使って学習する姿が見られます。



キーボードを使って学習し、わからないところはタッチ操作で同じ画面を見ながら話し合っています。

は、Office 365 の将来的な活用についても大きく期待を寄せています。「OneDrive だけでなく、Office 365 にはさまざまな機能があるので、どのように活用すれば効果的な教育を行えるのかをもっと知りたいですね。マイクロソフトには具体的な活用法や操作方法などについて教えていただければ、と期待しています」。

「国家試験対策やレポートのやり取りでクラウドを活用することは、今後必須になっていくでしょう。また、学生だけでなく、事務や教職員も

クラウドを活用して作業の効率化などを目指していく必要もあります。学内のサーバーも、セキュリティやサイバー攻撃に備えるために常駐して管理する必要がありますが、実際は大きな管理コストをかけることは難しい状況にあります。リスク管理やコストの面からも、これらのサーバーのクラウド化も考えていかなければなりません」と話す岡部氏。群馬パース大学では、今後も最新の ICT 技術を活用し、国家試験合格や就職を目指しながら活き活きとした大学生活を送れるような環境を学生に提供し続けていきます。

#### 導入についてのお問い合わせ

本ケース スタディは、インターネット上でも参照できます。 <http://www.microsoft.com/ja-jp/casestudies/>  
本ケース スタディに記載された情報は制作当時 (2014 年 8 月) のものであり、閲覧される時点では、変更されている可能性があることをご了承ください。  
本ケース スタディは情報提供のみを目的としています。Microsoft は、明示的または暗示的を問わず、本書にいかなる保証も与えるものではありません。

製品に関するお問い合わせは次のインフォメーションをご利用ください。  
■インターネット ホームページ <http://www.microsoft.com/ja-jp/>  
■マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755  
(9:00 ~ 17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除く)  
※電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

\* Microsoft, Excel, OneDrive, PowerPoint, および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
\* その他記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。  
\* 製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。

日本マイクロソフト株式会社 〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー